

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 2号機シュラウドの点検終了について

平成 15 年 2 月 27 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 2号機(沸騰水型、定格出力 110万キロワット)は、9月 20日からの点検停止中のところ、シュラウドの各溶接線について水中カメラ^{*1}を用いた目視点検(VT)および同点検により確認されたひびの超音波探傷検査(UT)を実施してまいりましたが、2月 26日に全てのシュラウド点検が終了しましたのでお知らせいたします。

目視点検により、下部リング溶接線(H6a)外側近傍のほぼ全周にわたる断続的なひび、シュラウドヘッドボルトブラケット^{*2}溶接線近傍に1箇所のひび、及び中間部胴縦溶接線(V16)外側近傍に1箇所のひび、シュラウドサポートリングの内側にほぼ全周にわたり断続的に存在するひびを確認しました。

ひびが確認された各部位について、ひびの深さをUTにより測定した結果、最大深さは、シュラウドヘッドボルトブラケット溶接線近傍で約 18mm、H6a外側近傍で約 16mm、V16外側近傍で約 20mmであることを確認しました。

(12月 5日、12月 26日、2月 13日お知らせ済み)

その後、シュラウドサポートリングについて、ひびの深さをUTにより測定した結果、最大深さは、約 16mmであることを確認しました。

以 上

* 1 : 点検に使用している水中カメラは、10~30cm離れた距離から直径 1/1000インチ(25.4/1000mm)のワイヤが識別できる程度の精度を持つものです。

* 2 : シュラウドヘッドボルトをさし込んで、シュラウドヘッドを固定するための2本のつめ状の金具である。